

保育経営懇ニュース

〒162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ 3F
Tel03-6265-3174 Fax03-6265-3184 gsp10404@nifty.com

2025 年 8 月号
No.259

2025 年 8 月 20 日発行
(一社)全国民間保育園経営研究懇話会

経営懇役員リレーエッセイ

合研の学びと平和の願い～平和ってどんなこと？～

平野桃子（大阪・なかよしすみれ保育園）

あっという間に 8 月。そして今年も合研の季節がやってきました。私も群馬へ現地入りしましたが、自施設の若い職員も参加し「リズムの実技にいきます」「食の話があるから別会場へいきます」と実技あり学びあり、交流とそれぞれ充実した 3 日間でした。合研では、やはり現地での出会いと生の声を聞き交流することで元気になります。関係者のみなさま、そして現地やリモート参加のみなさまお疲れさまでした。

会場でふとした瞬間に「ポーッ！」と外から音が聞こえた時が何度かありました。「汽笛？まさか」その姿は見えませんでした。後で調べてみると高崎は SL が通っているんですね。実際に見ることができず残念でしたが、その汽笛で今回の合研オープニング「機関車のうた」や「ぞうれっしゃよはしれ」の歌を思い返していました。この 2 曲はよく園でも歌っている曲なので、また後日、みんなで視聴できればと思っています。

保育園では 8 月に子どもたちと一緒に考える平和のつどいを開催していますが、毎年保護者にも呼びかけ平和について考え参加できる企画をすすめています。この数年は七夕に平和のメッセージを書いて園内に飾っていましたが、今年は「平和ってどんなこと？」をテーマに写真を募集しました。安心してぐっすり眠る・楽しくあそぶ・子どもの元気な姿が毎日みられる・笑顔いっぱい・お腹いっぱいおいしいごはんが食べられる…等メッセージも添えて保護者からも素敵な写真が集まり、園内に今も大きく掲示しています。保護者全体に呼びかけての千羽鶴の取り組みも数年前から始めていますが、保護者や子どもたちも出来た折り鶴を袋に入れて持ってきてくれ、「家の折り紙でもいっぱい作ってきた」と、どんどん集まっていました。子ども・保護者・職員の協力で年々、千羽鶴の完成が早くなっているような気がします。今年も完成した千羽鶴を広島へ無事に届けることができました。

5 歳児クラスでは日頃から平和について話し合い、みんなで考える時間も大切にしています。保護者を巻き込んで、クラスで話し合った事を更に家庭で調べてまとめたものが掲示されているのですが、子どもたちの思いや言葉だけでなく、絵でも表現していました。「平和が続くとこんなことになる」のメッセージとともに地球の絵や、SDGs、笑顔の人たちが手を繋いで並んでいる絵を見て胸が熱くなりました。子どもたちの言葉と、日々忙しい中で一緒に考えてくださる保護者のみなさんにも感謝です。様々な事を吸収して大きくなるこの時期の子どもたちの心が豊かに育っている事を嬉しく思います。

最後に千羽鶴を届けるために 5 歳児クラスで話し合ったメッセージとともに、子どもたちの未来へ、そして平和な世界を願いたいと思います。

**「こんな かなしいことがないように
せんそうをやめて へいわなくくに なってほしい」**



合研の平和企画に送った子どもたちの絵より

第 57 回合研集会 in 群馬.....

8 月 2～4 日、群馬県にて第 57 回合研集会が開催されました。会場には、全国から 3,313 名が集まりました。1 日目は全体会で、保育・子育てフォーラムの他、開催地企画やうたごえ交流会が行われました。2 日目は講座・分科会、3 日目は文化企画と記念講演（白石正久さん）が行われました。経営懇では、2 日目の分科会「民間保育園の運営と経営」の運営を担当し、その後、自主交流会として「園長交流会」を開催しました。



今年も開催！合研で園長交流会！！

◆暑い群馬で熱い園長交流会

昨年度の熊本合研で大成功だった「園長交流会」。今年も是非熱い交流を！と、仲間の先生方と相談し、合研 2 日目の夕方に「園長交流会」を開催することにしました。チラシは小西が作り、大阪の先生に飲み物の準備をお願いし、お菓子は、各地域で準備してくることにしました。チラシは当日、会場の入り口で「もう一人保育士を」のビラ巻き隊の皆さんに交じって、埼玉の先生と配布しました。会場は、経営懇の分科会会場だったので、分科会でもチラシを配布して呼びかけをしてもらいました。

◆お仲間が大集合！

初めは集まりが悪く心配しましたが、開催時間には 30 名ほどが集まり、会場がいっぱいになりました。

今年は、全保連や経営懇の顔なじみの先生方が多く、飲み物とお菓子で和気あいあいとした雰囲気の中、経営懇の森山事務局長の挨拶からスタート。「暗い話は多いけど、楽しかった話題で元気になろう」という提案で、嬉しかったこと、楽しかったこと、困ったこと、苦しかったこと、等々。

1 時間半の予定が、2 時間かかっても終わらないくらい、沢山の話題が出されました。

○岐阜の民間保育園園長：毎年合研は保護者にお休みの協力をお願いして、みんなで来ています。保育園は井戸を掘って、プールの水も

小西文代 経営懇業務執行理事（副会長）

18 度。涼しい～！保育園の隣地を購入して学童を移転します。0～12 歳までの異年齢の交流が楽しみです。保育園からの要望で、とりあえず柵をしましたが・・・。

○東京の理事長：理事長になって 3 年。いきなり、個人情報の流出事件で保護者説明会。謝罪文を 3 回手直しして、説明会当日、区の担当者から「暗記できませんか？」と聞かれ「無理です。」。裸足だったので「せめて靴下を」と言われ、急遽キャラクター付き靴下で謝罪しました。理事長って大変！！

○兵庫の民間保育園園長：退職の意向を退職代行会社から電話で伝えられる。ショック！！

○愛知の理事長：理事長の会もやってほしい。次世代を早く決めて引き継ぎたい。

○埼玉の民間保育園園長：人がいない。0.1 歳児の担任を 2 年間兼務。今年は園長のみでほっとしている。おかげで繰越金が増えて、普段変えない備品や修繕ができてうれしい！

○埼玉の民間保育園園長：今年から私立園長会の役員に。交流会やバスハイクを企画。市の担当課も一緒に参加。今までぎくしゃくしていたが、つながりができつつある。

○高知の公立保育園園長：「もう一人保育士を」の仲間入りをして、一緒に飲んだりできてうれしい！「自立とは、依存先を増やしていくこと」繋がれて、視野が広がって、人との出会いを大切にしたい。



○愛知の民間保育園園長：入所の見学に来た障害児の母親が卒園児だった。2歳児で発達年齢が10か月。歩行ができない。今は、別の保育園に通っているが、保育士不足で加配がつけられず、転園を勧められたとのこと。「自分が頑張っただけでこなかったから・・・」つらい思いをしている人を支えたい。

○滋賀県の民間保育園事務局員：高齢事業が中心の法人。いつも、理事会と戦っている。今回勝ち取ったものは、研修費を倍に。福利厚生費を増額。学習や交流が深まって、非常勤4人が正職に。保問研に10人参加。成果が出ている。

合研集会、今からでも申し込み可能～録画配信あり。保育制度講座もお勧め！

会場・オンラインでの開催は終わりましたが、8/22～9/23で録画配信があります。

<配信内容>

- ・保育・子育てフォーラム&1日目全企画
- ・講座（8講座）

○大阪の理事長：公立で10年、今いる法人でも園長を務め、理事長に。1期だけ務めて、次に繋いでいきたい。

○宮城の民間保育園園長：カムチャッカ半島の地震で、小学校の図書館に避難した。子どもが少なくてよかった。若い職員とどうつながっていくかが課題。清水先生のお話がよかった。

◆語り合うって大事

全国各地から集まって、分科会や講座で感じたことや、自身の体験を語り合い、共感でいっぱいでした。「つらいことを、ここにおいていいですか？」と、肩に背負った荷物を降ろし合って、笑いあり涙ありで語り合った2時間でした。参加者には、園長はもちろん、理事長や、法人の事務長も多く、組織的な運営の広がりを感じました。次回は、園長、法人本部に分かれてもいいかも。また、兵庫でお会いしましょう！！

- ・保育制度講座（誰でも通園制度、DX など）
 - ・文化企画（ピアノ・ヴァイオリン演奏・絵本）
 - ・記念講演（白石正久さん）
- *録画配信はお好きな時間帯に何度でも視聴できます（参加分担金：7,000円/1人）。

保育をめぐる情勢・国の動き・・・・・・・・・・・・・・・・

●保育施設の事故報告集計公表 報告件数、前年より増加・・・

こども家庭庁は、7月31日に、「令和6年教育・保育施設等における事故報告集計」を公表しました。この集計は、保育施設等において発生した死亡事故、意識不明事故、治療に要する期間が30日以上の中重度な事故について、2024(令和6)年1月1日から同年12月31日までの期間内に国に報告があった件数をまとめています。対象施設は、認可保育所や認定こども園・幼稚園の他、小規模保育事業、家庭的保育事業、一時預かり事業、病児保育事業、ファミサポ事業、放課後児童クラブ、認可外保育施設等も含まれています。

報告件数は3,190件で前年に比べ418件・15%増ですが、そのうち死亡事故は3件で、前年比で6件減少しました。

死亡事故は、0歳で1件、1歳で2件と低年齢児で発生しています。発生した施設は、幼保連携型認定こども園、認可保育所、認可外保育施設で、3件とも施設の室内での事故でした。発生時の状況は、睡眠中が2件、食事中が1件でした。

死亡事故以外の負傷等の報告は3,187件で前年より424件増加しました。そのうち、8割の2,537件が骨折によるものでした。発生場所で見ると、施設外での事故は337件にとどまり、事故の約9割が施設内の室内もしくは室外で起こっています。

配置基準の改善が進みつつありますが、全年齢でさらに基準を引き上げることや、食事・睡

眠など事故が発生しやすい場面に職員を手厚く配置するなどの、改善が求められています。

●保育士不足を感じる施設 8 割超 ～こども家庭庁委託調査

こども家庭庁は、委託調査「保育人材確保に向けた効果的な取組手法等に関する調査研究」報告書をホームページに公表しました。調査は、都道府県・市区町村・保育所等を対象に、2024年10～12月に実施されました。

自治体も保育所等も保育士不足を痛感

調査によれば、都道府県での保育士の不足状況について、「ほとんどの地域で不足傾向にある」という回答が、50%を超えています（常勤・非常勤共に）。市区町村でも、40%を超えており、自治体の規模等による多少の違いはあっても、全国的に保育士不足の状態が広がっていることが読み取れます。

保育所等の回答では、「直近3年程度における人材の不足感」について、「とても感じている」が42.7%、「まあ感じる」が37.6%、合計すると80.3%が保育士不足を感じています。

保育士不足の要因は

保育士不足の要因を都道府県に聞いたところ、「業務負担が重く、働き方が厳しい」が

72.5%と最も高く、次いで、「他業界と比較して待遇が悪い」52.5%、「給与等の処遇条件が合わない」42.5%となっています。

市区町村でも業務負担の重さは同様に上がっていますが、町・村の場合は「条件のよい近隣市区町村や都市部等に人材が流れてしまう」をあげる割合が最も高くなっていました。

保育士確保の方策はどうあるべき！？

国は、保育士確保策として、資格取得支援や資金貸付、現場の魅力発信、巡回支援、保育士・保育所支援センター設置など、いくつもの事業を設けていますが、保育士不足の要因に対してふさわしい対策となっているのでしょうか。自治体や保育所等での対策も必要ですが、自治体・施設任せでは、条件のよいところに流れてしまう状況は改善できません。業務負担の重さ、という点では、配置基準を引き上げ保育士増員を図る必要があります。給与水準を大幅に引き上げるべく、公定価格の底上げも欠かせません。

調査結果を参考にしつつ、配置基準の引き上げと公定価格の拡充を求めていきましょう。

お知らせ.....

●夏季セミナー申込締切迫る



今回は、教育と保育、保育情勢、平和の三つが柱です。

教育については、『ルポ 学校がつかまらない』（岩波書店）著者・小林美希さんを講師に招きます。ぜひ会場でご参加ください。

【経営懇話活動日誌・6～7月】

- 6月2日(月)主任セミナー下見・実行委員会
- 6月10日(火)会計監査
- 6月21日(土)合研分科会打ち合わせ
- 6月22～23日(日～月)25年度定時社員総会
- 7月14日(月)三役会（業務執行理事会）
- 7月28日(月)第1回理事会(役員会)開催。

同封資料

- 「令和6年教育・保育施設等における事故報告集計」より抜粋
- 夏季セミナー2025案内書
- ※振込は郵便局備え付けの用紙にて
- 保育白書2025年版申込み書

夏季セミナー2025

日時：9月8日(月)10～16時

会場：KFC ルーム（東京・墨田区）

※詳細は同封の案内書をご覧ください。